

予防接種研究の未来を垣間見る

予防接種プログラムは、予防可能な病気から、毎年何百万人も命を救っている。最近開発されたCOVID-19 ワクチンは、迅速な開発と承認のおかげで、米国とヨーロッパだけで、SARS-CoV-2から少なくとも75万人の命を救ったと推定されている。

世界予防接種週間を支援するため、Springer Natureは、予防接種研究および関連トピック（蔓延する疾患や mRNA など）に関する出版物の2017～2021年の動向を詳しく調べた。調べたのは、出版された論文数、オープンアクセスで利用可能な割合、実施された臨床試験の数、資金調達の数などである。このデータに基づいて、これらのパラメーターについて2024年までの予測を行った。

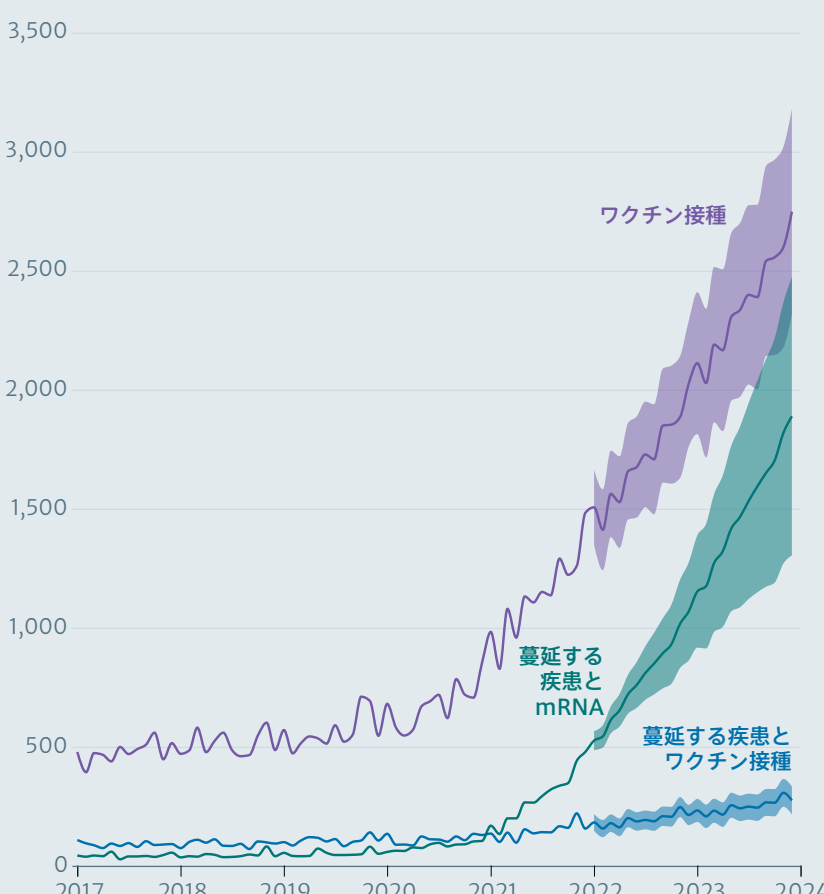
ワクチン接種関連研究への関心が高まり、資金が集まって、予防接種率が世界的に向上することで、現在致命的とされている病気の多くが、将来的にほとんど影響を及ぼさなくなることが期待される。

ワクチン接種についての論文が増加

ワクチン接種に関連したトピックに関する出版論文数が増加している。

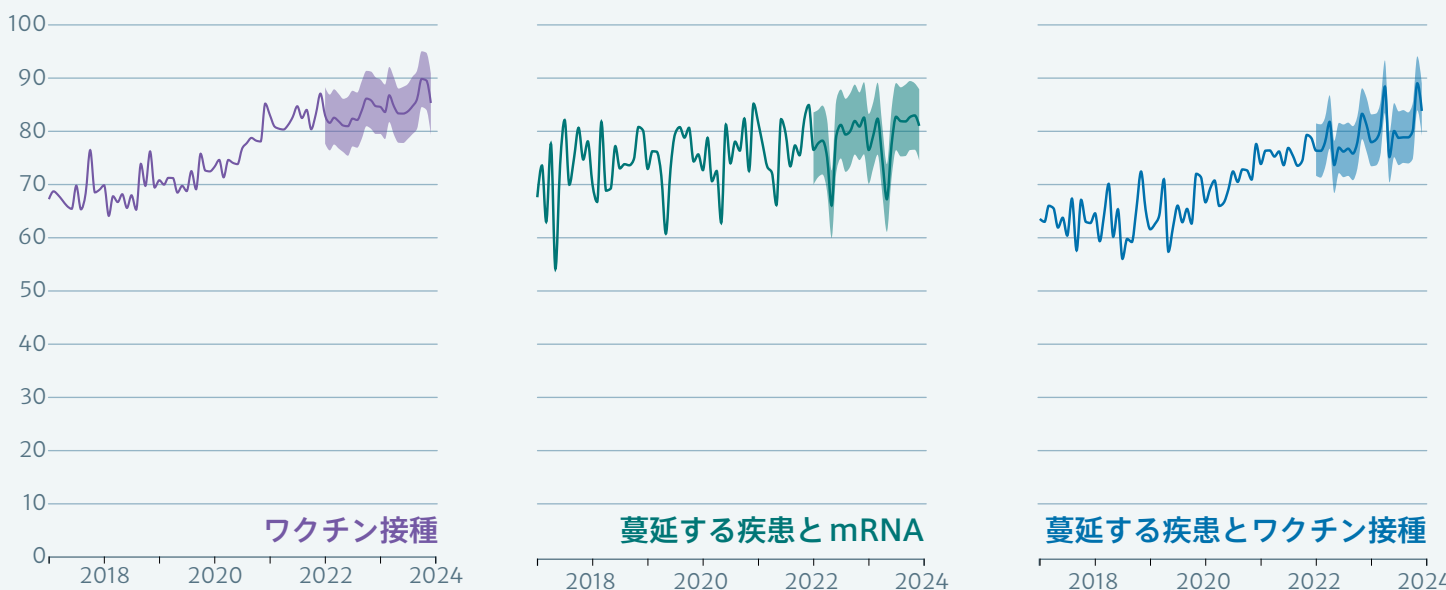
「ワクチン接種」「蔓延する疾患と mRNA」のいずれも、2021年の間に特に急激な上昇を示している。

この傾向は2022～2024年も続くと言われる。

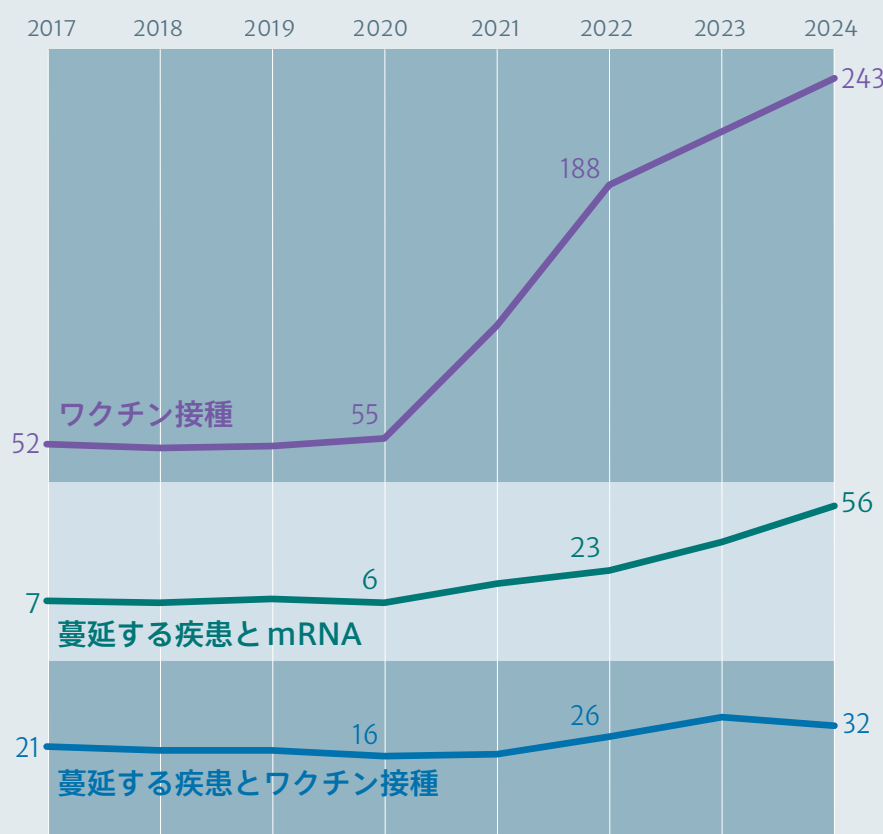


オープンアクセスのワクチン接種の論文が報じられる割合は通常の論文よりも高い

オープンアクセスで出版されたワクチン接種の論文が報じられる割合は60～80%と、通常の論文よりも高かった（2017～2021年におけるこの割合は40～60%）。この数字は今後さらに増加すると予想される。ワクチン接種と蔓延する疾患、mRNAと蔓延する疾患に関する論文がオープンアクセスで出版される割合は、同じような挙動を示している。



ワクチン接種に関連する臨床試験件数が増加



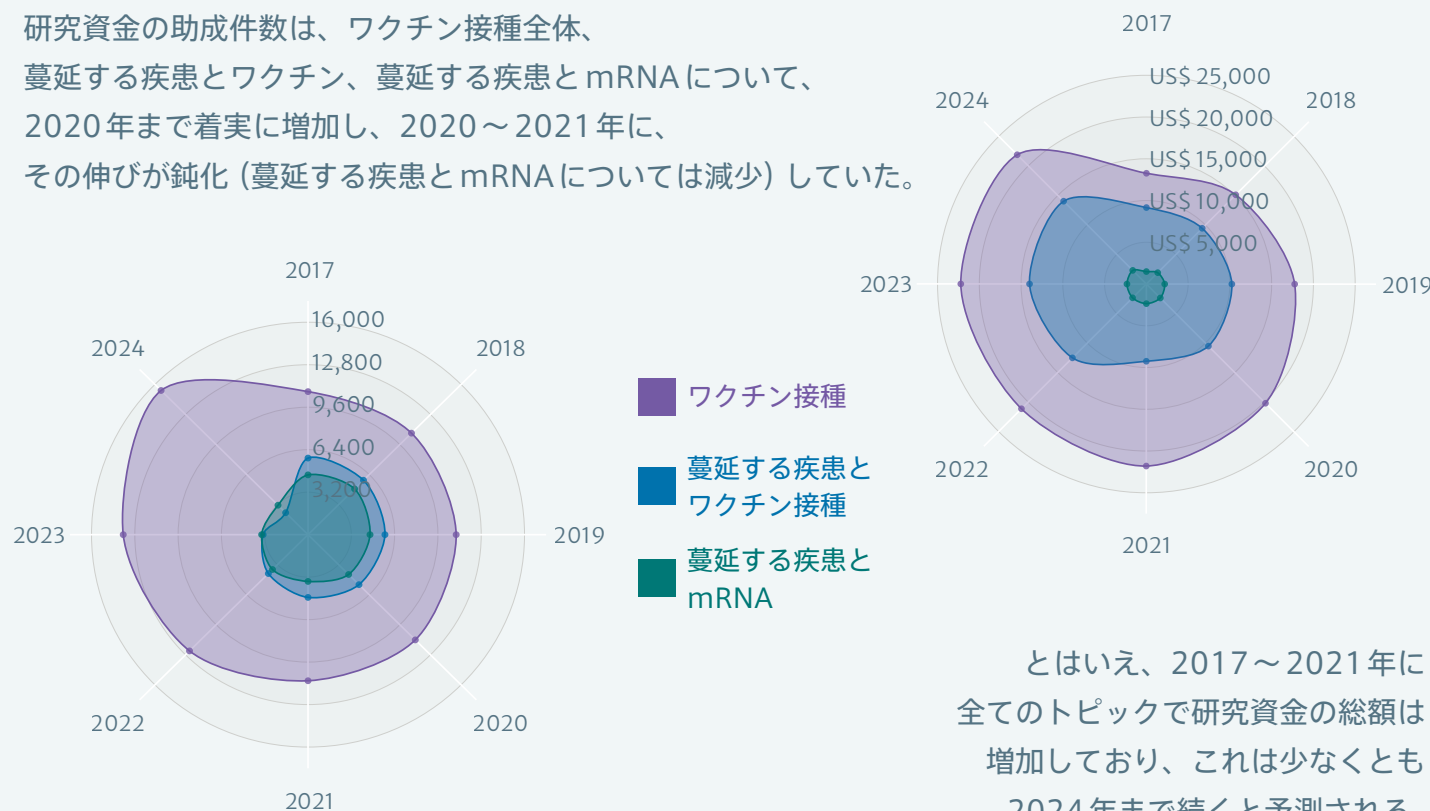
ワクチン接種に関連する臨床試験数が、2020～2021年に著しく急増し、これは2022～2024年も続くと言われる。

ワクチン接種と蔓延する疾患に関連する臨床試験は着実に増加している。

蔓延する疾患と mRNA、蔓延する疾患に関する臨床試験については、2020～2022年に顕著に急増するが、増加率は2022～2024年に鈍化すると予測される。

ワクチン関連研究の研究資金は増加すると予測される

研究資金の助成件数は、ワクチン接種全体、蔓延する疾患とワクチン、蔓延する疾患と mRNA について、2020年まで着実に増加し、2020～2021年に、その伸びが鈍化（蔓延する疾患と mRNA については減少）していた。



とはいえ、2017～2021年に全てのトピックで研究資金の総額は増加しており、これは少なくとも2024年まで続くと言われる。

データについて

Springer Natureは、Dimensions Dataのパートナーである。Dimensionsの詳細については、Dimensions.aiからエクスポートされるページをご覧ください。

データは、2022年3月にエクスポートされたものです。

ここで紹介している予測は、回帰分析手法を用いて最近の傾向に基づいて作成されたもので、COVID-19パンデミックといった最近の要因については考慮していません。

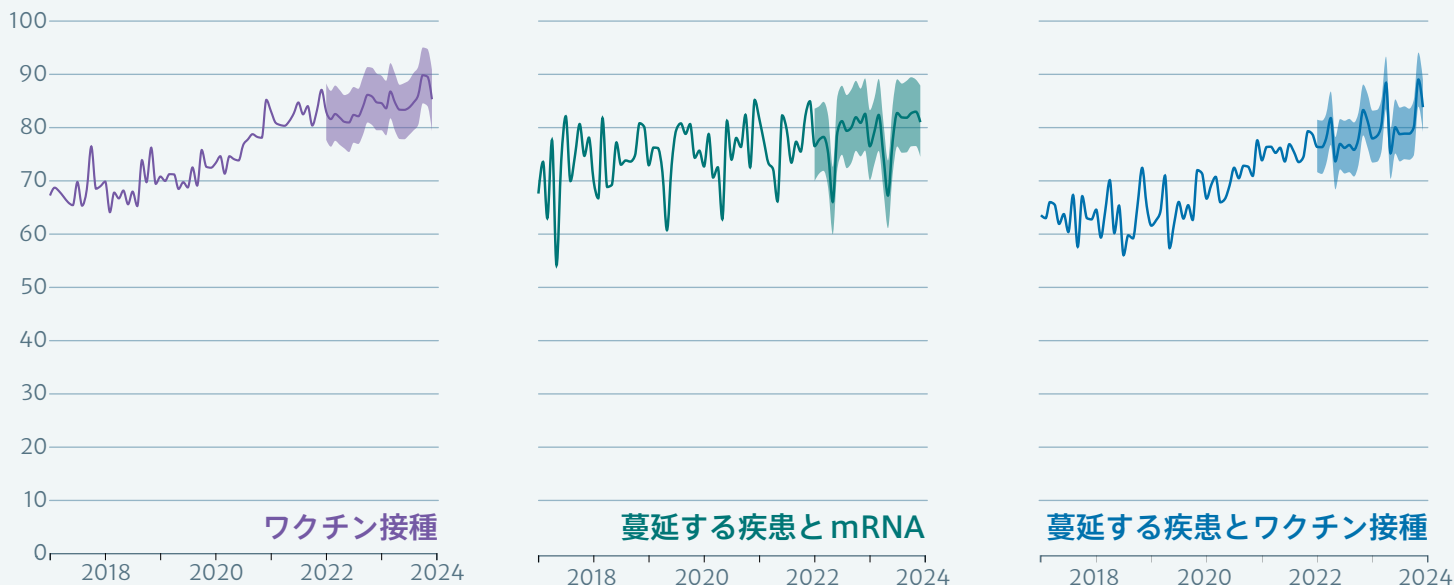
これらの予測は推論的なものであり、シュプリンガー・ネイチャーとの協議なしに意思決定に用いないようにしてください。

※ここでの蔓延する疾患は、HIV、がん、アルツハイマー病、糖尿病、心臓病、結核、と定義している。

予防接種研究の未来を垣間見る

オープンアクセスのワクチン接種の論文が報じられる割合は通常の論文よりも高い

オープンアクセスで出版されたワクチン接種の論文が報じられる割合は60~80%と、通常の論文よりも高かった(2017~2021年におけるこの割合は40~60%)。この数字は今後さらに増加すると予想される。ワクチン接種と蔓延する疾患、mRNAと蔓延する疾患に関する論文がオープンアクセスで出版される割合は、同じような挙動を示している。



Springer Nature は、Dimensions Data のパートナーである。Dimensions の詳細については、Dimensions.ai からエクスポートされるページをご覧ください。

データは、2022年3月にエクスポートされたものです。詳細については、springernature.com のインフォグラフィックをご覧ください。

※ここでの蔓延する疾患は、HIV、がん、アルツハイマー病、糖尿病、心臓病、結核、と定義している。

予防接種研究の未来を垣間見る

ワクチン接種に関連する臨床試験件数が増加

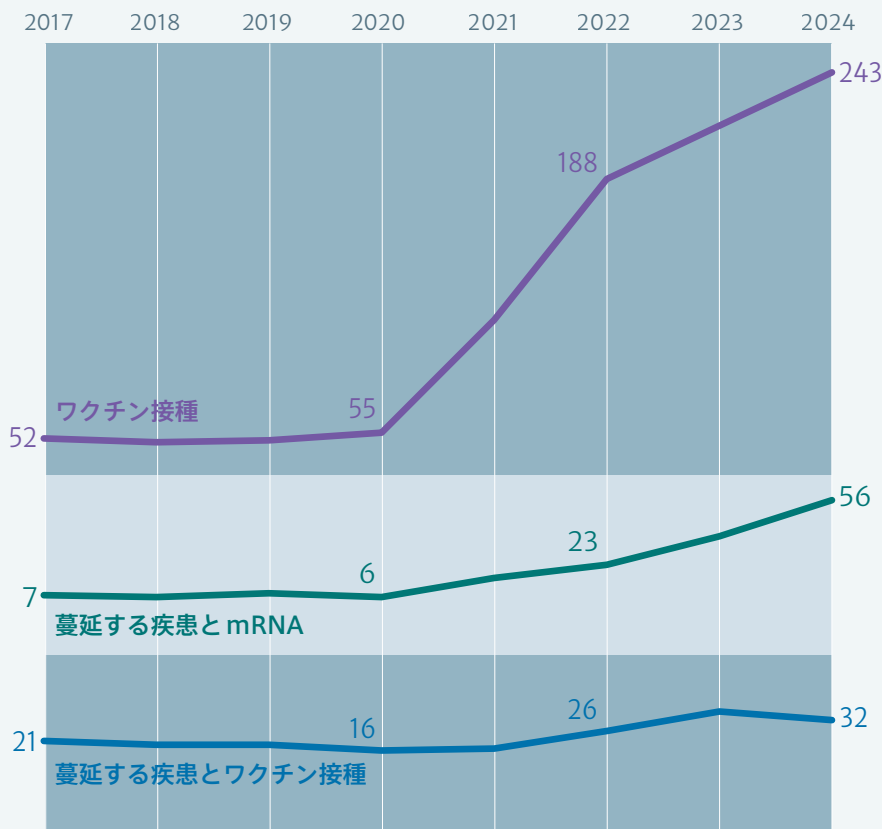
ワクチン接種に関連する臨床試験件数が、2020～2021年に著しく急増し、これは2022～2024年も続くと予想される。

ワクチン接種と蔓延する疾患に関連する臨床試験は着実に増加している。

蔓延する疾患と mRNA、蔓延する疾患に関する臨床試験については、

2020～2022年に顕著に急増するが、

増加率は2022～2024年に鈍化すると予測される。



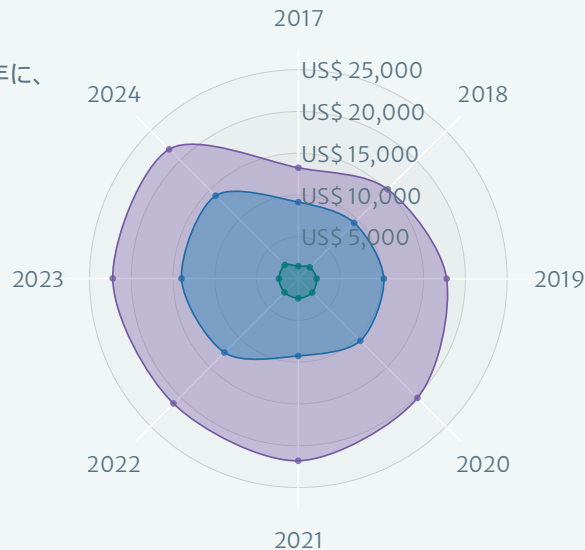
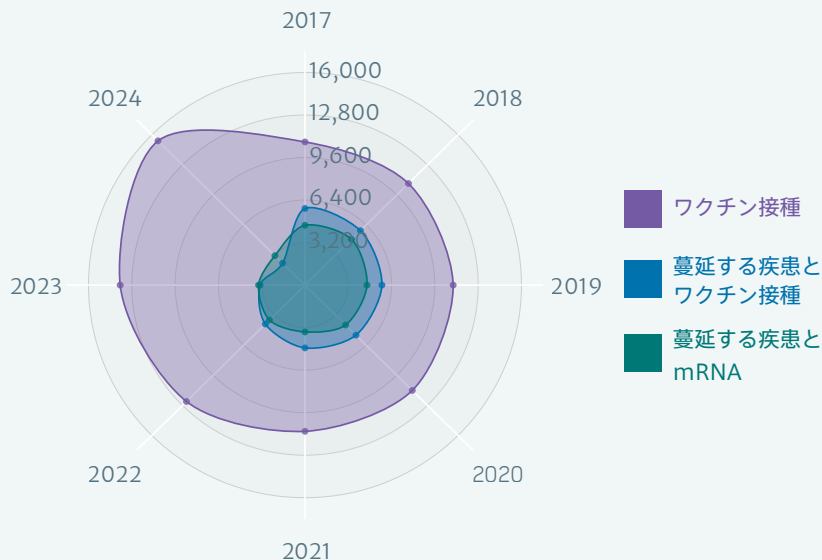
Springer Nature は、Dimensions Data のパートナーである。Dimensions の詳細については、Dimensions.ai からエクスポートされるページをご覧ください。データは、2022年3月にエクスポートされたものです。詳細については、springernature.com のインフォグラフィックをご覧ください。

※ここでの蔓延する疾患は、HIV、がん、アルツハイマー病、糖尿病、心臓病、結核、と定義している。

予防接種研究の未来を垣間見る

ワクチン関連研究の研究資金は増加すると予測される

研究資金の助成件数は、ワクチン接種全体、蔓延する疾患とワクチン、蔓延する疾患と mRNA について、2020年まで着実に増加し、2020～2021年に、その伸びが鈍化（蔓延する疾患と mRNA については減少）していた。



とはいえ、2017～2021年に全てのトピックで研究資金の総額は増加しており、これは少なくとも2024年まで続くと予測される。

Springer Nature は、Dimensions Data のパートナーである。Dimensionsの詳細については、Dimensions.ai からエクスポートされるページをご覧ください。

データは、2022年3月にエクスポートされたものです。詳細については、springernature.com のインフォグラフィックをご覧ください。

※ここでの蔓延する疾患は、HIV、がん、アルツハイマー病、糖尿病、心臓病、結核、と定義している。

予防接種研究の未来を垣間見る

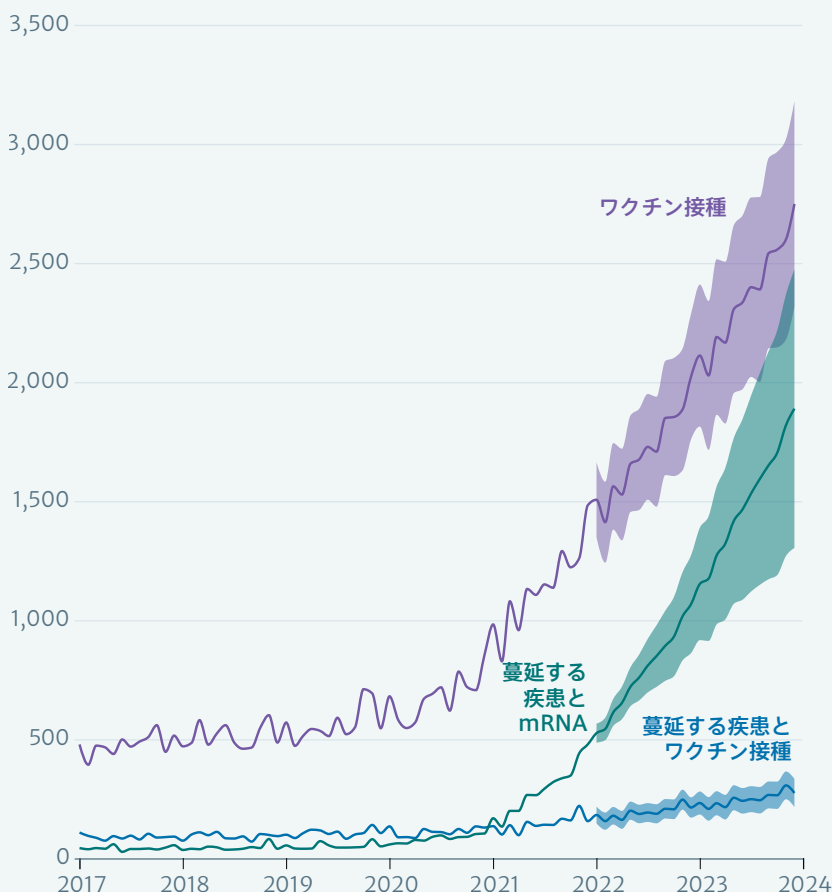
ワクチン接種についての論文が増加

ワクチン接種に関連したトピックに関する出版論文数が増加している。

「ワクチン接種」「蔓延する疾患と mRNA」のいずれも、

2021年の間に特に急激な上昇を示している。

この傾向は2022～2024年も続くと予想される。



Springer Nature は、Dimensions Data のパートナーである。Dimensions の詳細については、Dimensions.ai からエクスポートされるページをご覧ください。データは、2022年3月にエクスポートされたものです。詳細については、springernature.com のインフォグラフィックをご覧ください。

※ここでの蔓延する疾患は、HIV、がん、アルツハイマー病、糖尿病、心臓病、結核、と定義している。